

感染状況・医療提供体制の分析(7月27日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計			前回の数値 (7月20日時点)	現在の数値 (7月27日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	6813人 (363人)	13135人 (699.8人)	→	感染状況 コメント	レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要	
		60歳以上 (総数に占める割合)	850人 (12%)	1637人 (12%)	→			
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	4025人	7373人	→	新規陽性者は <u>人口10万人 当たり700人</u> と倍増。全年齢層で増加、60歳以上が占める割合も高い水準で推移。医療機関でのクラスターも多数発生。 全国的にこれまでで最も高い感染レベルとなり、感染拡大は止まらず。感染力の強いBA5への置き換えりが岡山でも進み(直近約9割)、今後も陽性者増加が見込まれる。屋内でのマスク着用、室内換気、手指衛生、ワクチン接種など感染対策再強化を。		
		県南西部	2028人	4346人	→			
		高梁・新見	65人	158人	→			
		真庭	100人	176人	→			
		津山・英田	583人	1068人	→			
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	1473人 (調査中を除く)	2806人 (調査中を除く)		→	
割合 (③/①)			42% (調査中を除く)	51.4% (調査中を除く)	→			
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		122人 (22%)	212人 (38%)	→	医療提供 体制コメント	レベル4. 体制が逼迫していると思われる	
	⑤宿泊療養者数		193人	133人	→			
	⑥自宅療養者数		5484人	10308人	→	確保病床における入院割合増加。発熱外来や救急医療は逼迫状態。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、手術制限など通常医療の提供が困難になってきている。		
	⑦重症者数		1人	2人	→			